

病害虫発生予察情報

東京都病害虫防除所

向こう1か月（11月）の予報

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

令和2年度 予報第7号

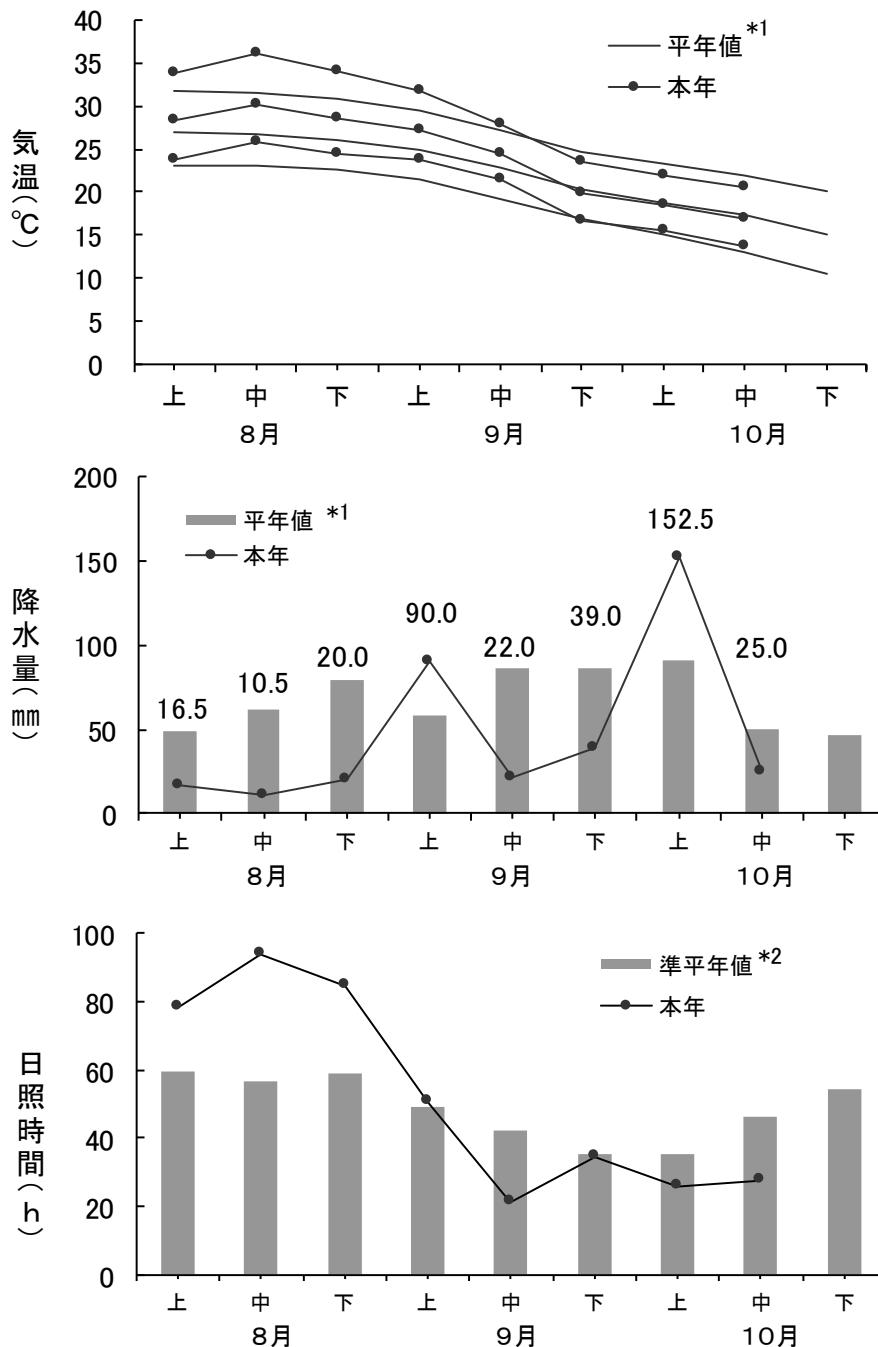
e-mail:

S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】2020年10月29日 気象庁 地球環境・海洋部発表、関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
	気温	20	40	40
	降水量	40	40	20
	日照時間	30	30	40

【気温・降水量・日照時間の経過】 平年値及び準平年値と本年の10月中旬までのデータを示した。（東京都府中市 気象庁気象観測所データ）



*1：1981-2010の平均値、*2：1987-2010の平均値

施設野菜、花きの灰色かび病に注意しましょう！！

これからの時期、施設野菜、花き等で灰色かび病の発生が増えてきます。防除指針を参考に収穫前日数に注意し、予防的に防除しましょう。

- ★ 咲き終わった花卉や発病果、発病葉は早目に取り除きましょう！
- ★ ハウス内が過湿にならないよう換気やかん水に注意して下さい。
- ★ 循環扇や暖房機等を活用し、植物体表面の結露を除去しましょう！
- ★ 薬剤散布の際は、耐性菌出現防止のため、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行いましょう！

【病害虫発生予報】（各根拠に記した（ ）内記号は発生助長要因の強度を示す）

I. 野菜の病害虫

1. キャベツの菌核病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 天候に留意し、防除指針に従い予防的に防除する。
- 2) 薬剤の散布にあたっては、収穫前日数に注意する。
- 3) 罹病株は翌春の発生源となるので、早めに処分する。

2. キャベツ、ブロッコリーの黒腐病、黒斑細菌病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い予防的に防除する。
- 2) ブロッコリーは黒腐病に感受性が高いので今後の発生に注意する。

3. ハクサイ軟腐病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、アブラナ科野菜において各地とも発生は少ない。(一)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い予防的に防除する。

4. コマツナ、カブの白さび病

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(－)

防除上考慮すべき事項

- 1) 密植を避け、施設では過湿に注意する。
- 2) 防除指針に従い防除する。

5. ネギのさび病

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(－)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

6. アブラナ科野菜のコナガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) フェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない。(－)
- 2) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(－)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 収穫後の残渣の処理を徹底して行う。

7. アブラナ科野菜のアブラムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) アブラムシ類は各種ウイルス病を媒介するが、各地とも発病は少ない。(－)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 薬剤に対する抵抗性が発達している場合があるので、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う。

8. ホウレンソウのシロオビノメイガ

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(－)
- 2) 予察灯への成虫の飛来は平年並である。(＋)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 寒冷紗などの被覆資材により侵入を防止する。

9. ホウレンソウのモモアカアブラムシ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い薬剤を散布する。

10. トマトサビダニ（施設）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並～高いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後、春の増加期に被害を出さないため、防除指針に従い防除する。

II. 花きの病害虫

1. シクラメンのホコリダニ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並～高いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 花蕾や新葉の奇形を確認したら、10倍以上のルーペ等で観察するか、不明な場合は病害虫防除所や普及センターに相談する。

III. 野菜および花き類の共通病害虫

1. 灰色かび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 施設内の過湿に注意し、罹病株や罹病残渣を施設内に放置しない。
- 2) 防除指針に従い初期防除に努める。
- 3) 薬剤耐性菌の発達を避けるため、系統の異なる薬剤のローテーション散布を行う。

2. タバコガ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(－)
- 2) フェロモントラップにおける誘殺数は平年並であった。(±)
- 3) 気象予報によれば気温は平年並～高く、降水量は少ない～平年並と予想される。(＋)
- 4) 年間の発消長は今後減少に向かう。(－)

防除上考慮すべき事項

- 1) 果菜類の幼果や花き類の蕾を好むので排泄糞に注意、被害果や花雷を放置せず、速やかに処分する。
- 2) キャベツ、ハクサイ、トマト、ナス、インゲン、ピーマンなどのほか、バラ、キク、カーネーションなども加害する。
- 3) 防除指針を参考にして防除する。

3. コナジラミ類（施設）

予報内容

発生量	オンシツコナジラミ：やや少
	タバココナジラミ：やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも両種の発生は少ない。(－)
- 2) 気象予報によれば気温は平年並～高いと予想される。(＋)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後、野外から施設内への侵入はほとんどないと思われるが、現時点で発生の多い施設では、防除指針に従い速やかに防除する。
- 2) トマトでは黄化葉巻病の発生が確認されているので、タバココナジラミが発生している場合にはバイオタイプ Q に効果がある薬剤で速やかに防除する。

次回の予報は令和3年4月です。

防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

- ☆ 病害虫の発生予報、発生状況、防除方法などをお知らせしています。
- ☆ **防除指針オンライン版（令和2年版）公開中！**
(防除指針正誤表等、最新情報をご確認下さい)
- ☆ 農薬に関する詳しい情報は、農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。
(<https://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>)